

よくある質問



① 八戸水産高校について

・八戸水産高校はどんな学校ですか？

本校は、水産業を支える海洋・食品・工学の3分野について実践的に学び、確かな知識や技術、資格を身につけ、地域の未来を担う人財を育てる学校です。

・八戸水産高校では、どんなことを体験できますか？

実習船「青森丸」での航海や漁業実習、食品の製造・加工、機械や溶接などの実習など、実際の機械や設備を使って学べるのが本校の大きな特徴です。教室での学習だけでなく、実際に「見て、触れて、体験する」ことで、専門的な知識や技術を身につけます。

・どんな生徒が入学していますか？

水産や海、船、魚、食品、機械などに興味がある生徒はもちろん、「将来やりたいことを高校で見つけたい」という生徒も入学しています。専門的な知識や技術を身につけながら、自分の興味や将来の目標を見つけていくことができます。

・3つの学科では何を学びますか？

【海洋生産科】

漁業や船舶、海洋生物など、海に関わるさまざまなことを幅広く学びます。実習船での航海や釣り実習など、実際の海を舞台にした体験を通して、魚を獲る技術や船を動かす知識を身につけます。また、「つくり育てる漁業」についても学び、豊かな海と水産業の未来を考えます。

【水産食品科】

魚介類を中心とした水産物を、おいしく安全な食品へと変えるための知識と技術を学びます。食品の製造や加工、品質管理について学ぶだけでなく、「こんな商品があったらいいな」というアイデアを形にする商品開発にも挑戦します。

【水産工学科】

船を動かすエンジンや機械、設備など、社会を支える「機関」の仕組みを学びます。実習では、機械の操作や整備、点検に加え、溶接などのものづくりにも取り組み、実際に手を動かしながら確かな技術を身につけます。船舶や水産業をはじめ、さまざまな分野で必要とされる、「機械」と「ものづくり」の知識と技術を備えたエンジニアを目指します。



・**入学者の出身地を教えてください。**

入学者の約7割が、八戸市および近隣地域の出身です。

本校には学生寮があるため、下北地域、津軽地域、岩手県北地域など、遠方から入学する生徒もあり、全体の3割程度を占めています。

・**女子生徒はいますか？**

女子生徒も入学しています。女子生徒は、平均して募集定員の1～2割程度です。船舶業界では女性も採用されており、本校の卒業生から女性の航海士や機関士も誕生しています。また、水産食品科は約半数が女子生徒です。

・**泳げなくても大丈夫ですか？**

泳げない生徒も入学しています。船員になるために、入学時から泳げることが必要という決まりはありません。本校では短時間の水泳訓練を行っており、この訓練をきっかけに泳げるようになった生徒もいます。



② 資格・進路

・**卒業すると、どんな資格が取れますか？**

海洋生産科や水産工学科では、五級海技士（航海）及び内燃機関五級海技士（機関）の筆記試験が免除されます。海洋生産科では、一級小型船舶操縦士や第二級海上特殊無線技士の取得を目指すことができます。また、専攻科を修了すると、海技士の口述試験を受験することができ、合格すると海技士を取得できます。

※海技士とは、大型船舶を運航するために必要な資格です。

・**卒業すると船乗りになれますか？**

卒業後、漁船やタンカーなどの船員として働くことができます。ただし、船舶職員として働くためには、海技士が必要です。

・**卒業後は、どのような進路がありますか？**

令和7年度の進学・就職率は100%です。卒業後の進路は、就職と進学がおおよそ50%ずつとなっています。

就職先は、約60%が県内の水産関連産業ですが、水産業や食品、船舶、機械・製造など、さまざまな分野に就職しています。学校で学んだ専門分野を生かせる仕事だけでなく、専門分野とは異なる仕事に就くこともできます。

進学者のうち、約80%は本校の専攻科へ進学しています。そのほか、国立・私立の4年制大学や各種専修学校へ進学することもできます。

・専攻科とは、どのようなところですか？

将来の船長や機関長を目指し、船を動かすための専門的な知識と技術をさらに学ぶ課程です。水産高校の海洋生産科（海洋漁業コース）または水産工学科を卒業した後、さらに2年間学びます。航海や船の機関について専門的に学び、船を安全に運航するための力を身につけます。

・在学中に取得できる資格・検定はありますか？

学科によって、さまざまな資格・検定に挑戦することができます。海洋生産科では、第二級海上特殊無線技士、潜水土、危険物取扱者など、水産食品科では、食品技術検定やHACCP基本技能検定など、水産工学科では、ボイラー技士、第二種電気工事士、潜水土、ガス溶接、危険物取扱者などの資格・技能講習に挑戦できます。このほかにも、各学科の学習内容に関連したさまざまな資格・検定があります。

③ 授業・実習について

・普通高校と授業は違いますか？

普通高校と同じように、国語や数学などの教科を学びます。それに加えて、水産や船、食品、機械など、それぞれの学科の専門的な授業や実習があります。実際に手や体を動かして学ぶ機会が多いことが、本校の大きな特徴です。

・実習はどんなことをしますか？

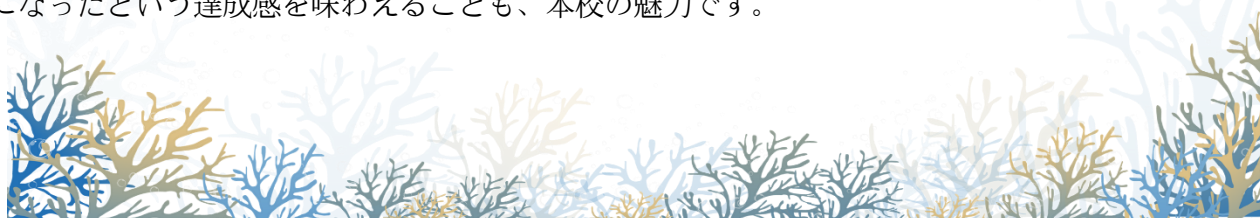
学科によって内容は異なります。海洋生産科では漁業・航海・生物の飼育や観察、水産食品科では食品の製造・加工や販売、水産工学科では機械の操作や整備、ものづくりなどの実習を行います。実際の工具や設備を使いながら、専門的な知識や技術を身につけます。

・実習船「青森丸」に乗ることはできますか？

はい。海洋生産科や水産工学科では、実習船「青森丸」に乗って、航海や漁業などの実習を行います。実際の海を舞台に、船の操船や当直、漁業などを体験しながら学びます。青森丸では、マグロ延縄漁業や釣りなどの実習も行っています。また、水産食品科を含めた1学年全クラスで2泊3日の沿岸航海を行います。

・実習は大変ですか？

初めて取り組むことも多いため、難しく感じることもあります。しかし、先生から教えてもらいながら、実際に手を動かして少しずつできるようになっていきます。実習を通して、できるようになったという達成感を味わえることも、本校の魅力です。



④ 学校生活について

・どんな部活動がありますか？

運動部では、陸上競技、野球、端艇（カッター）、サッカー、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン、柔道、剣道があります。文化部では、八水大漁太鼓、芸術、囲碁があります。このほか、総合運動文化の愛好会や、水産クラブの活動もあります。

・アルバイトはできますか？

アルバイトは、学校のルールに従って行うことができます。学業や実習、学校生活との両立を考えながら、計画的に行うことが大切です。

・スマートフォンは学校で使えますか？

登校後は電源を切り、かばんに入れて保管します。授業中などに使用することはできません。ただし、授業などで必要な場合は、先生の指示により使用することがあります。

・学校に食堂はありますか？

本校には食堂はありません。昼食はお弁当を持参するほか、昼食販売サービスで購入することもできます。

⑤ 学生寮について

・学生寮はありますか？

はい。本校には「眺洋寮（男子寮）」があり、遠方から入学する生徒が生活しています。学校の近くにあるため、学校生活と両立しやすい環境です。

・どのような人が寮に入れますか？

遠方から入学する生徒など、通学が難しい生徒が入寮できます。入寮については、学校の定める基準により決まります。

・寮ではどのような生活をしていますか？

寮では、仲間と一緒に生活しながら、食事や入浴、学習など、自分のことを自分で行います。共同生活を通して、規則正しい生活習慣や協調性を身につけることができます。

・寮の部屋は何人部屋ですか？

基本的に2人部屋です。友達と一緒に生活しながら、学校とは違った経験をすることができます。



・寮では食事が出ますか？

はい。朝・昼・夕の3食が用意されます。長期休業中など、寮が閉まる期間は食事の提供もありません。

・休日は自宅に帰れますか？

はい。週末などに自宅へ帰ることができます。帰省する場合は、事前に所定の手続きを行います。寮に残って休日を過ごすこともできます。

・寮から部活動や習い事に通えますか？

はい。部活動や習い事などに参加することができます。ただし、帰寮時間などのルールがありますので、決められた時間までに帰寮する必要があります。

・女子寮はありますか？

女子専用の寮はありません。遠方から入学する女子生徒は、下宿などを利用して学校生活を送っています。下宿先などについては、学校からの紹介や斡旋は行っておりませんので、ご家庭で入学後の住まいについてご検討いただくことになります。

⑥ 入試・体験入学について

・体験入学はありますか？

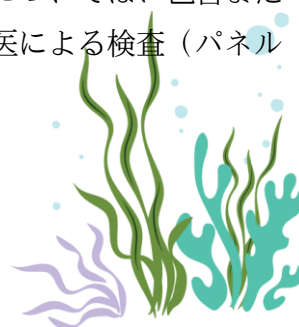
はい。毎年7月下旬に実施しています。学科ごとの体験実習や、実習船「青森丸」での体験航海などを行います。詳しい日程や内容は、本校ホームページの「体験入学」でご確認ください。

・体験入学では、どんなことができますか？

海洋生産科では、操船シミュレーターやロープワークなど、水産食品科では、缶詰の巻き締めや実習製品の試食など、水産工学科では、機関運転や空中ドローンの操作体験などを行います。また、実習船「青森丸」での体験航海もあります。実際に体験することで、本校での学びをより具体的に知ることができます。

・入学試験に必要な視力や色覚の基準はありますか？

海洋生産科・水産工学科で海技士資格の取得を目指す場合、視力や色覚について一定の基準があります。視力は、矯正視力を含めて両眼とも0.5以上が必要です。色覚については、色盲または強度の色弱でないことが求められます。色覚が正常でない場合は、眼科医による検査（パネルD-15）を受けていただきます。詳しくは、本校までご相談ください。



⑦ 費用について

・高校にかかる費用はどのくらいですか？

令和8年度の授業料は、年額118,800円（月額9,900円）です。高校の授業料には、国の支援制度があります。入学時には、学科により約5万～7万円の費用のほか、諸会費（PTA・生徒会等）や制服・体育用品等の費用が必要です。

・寮費はいくらですか？

寮費は、月額46,000円（令和8年度）です。食事代も含まれています。



青森県立八戸水産高等学校

